

2022年度 委員会・地区支部 活動報告書

委員会・地区支部（串木野・日置地区支部） 委員長・地区支部長（迫田 修幸）

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら地区支部総会・地区支部研修の開催を検討・準備し、地区支部会員の社会福祉士としての資質の向上や会活動に対する理解・意識の向上が図られるように努める。 また地区支部会員のみを対象とした活動だけではなく地域貢献活動（福祉従事者を対象とした研修会の開催、無料相談会の開催等）にも取り組み、福祉従事者や地域住民等への支援や社会福祉士の認知度の向上が図られるよう努める。 ・鹿児島県社会福祉士会（以下、「会」）に入会していない社会福祉士への入会を呼びかけ会員増加を図ることで地区支部活動の活性化や会の組織強化につなげられるよう努める。 ・いちき串木野市・日置市の各協議会・委員会等への委員の推薦依頼があった場合は積極的に対応し、社会福祉士として行政や関係機関へ協力するよう努める。
具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県事務局の提案により、オンライン形式による他地区支部との合同研修の開催が検討・企画され、当地区支部は鹿児島地区支部との合同研修を3月に開催することができた。一方で、地区支部総会を年1回、地区支部研修を年3回、それぞれ開催することを計画していたが、新型コロナウイルスの感染防止をはじめ諸般の事情により今年度も昨年度に続き総会・研修会（3回のうち2回）は開催を見送った。 ・11月から12月にかけて、コロナ禍での地区支部活動に関するアンケート調査を地区支部会員向けに実施し、意向の確認・意見の収集を行った。 ・役員会は電話やLINEを活用し、委員長・地区支部長会議の報告や県事務局への提出書類の確認、地区支部選出理事との意見交換等を随時行なった。 また3月の合同研修の開催にあたり鹿児島地区支部の役員（地区支部長・副地区支部長・会計担当者）との打ち合わせも2回行われた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行は続いているが、地区支部会員の資質向上や地区支部会員間のネットワーク形成・拡大を図ること、入会していない社会福祉士の入会促進に努めることが必要であることに変わりはない。 それで3月にオンライン形式で合同研修が開催できたことを踏まえ、今後は新型コロナウイルスの感染防止対策を取りつつオンライン形式による会議・研修会の開催や、可能な形で集合形式での会議・研修会の開催を検討していきたい。
委員会・研修会等開催状況	主な内容
3月24日（金）	研修会「オンラインに触れて活用して交流を深めよう」 （講師：西真人氏【県社会福祉士会鹿児島地区支部長】） [オンライン形式による鹿児島地区支部との合同研修]